

学力向上を図るための全体計画 令和4年度 小平市立小平第十三小学校

- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 東京都教育委員会の教育目標・基本方針
- 小平市教育振興基本計画

小平市立小平第十三小学校 学校教育目標

- ◎ **自ら考え行動する子ども**
- **明るく元気な子ども**
- **仲良く助け合う子ども**

- 学校、児童・地域の実態
- 期待される児童像
- 保護者の期待や願い
- 地域の期待や願い

【目指す学校像】

自ら学び、他と共に生きる子供が育つ学校

- 特別の教科 道徳の指導の重点**
- ・道徳実践力の育成
 - ・道徳的価値の自覚

- 外国語活動の指導の重点**
- ・コミュニケーション能力の育成

- 総合的な学習の時間の指導の重点**
- ・学び方やものの考え方を身に付けさせる。
 - ・自己の生き方を考えさせる。

- 特別活動の指導の重点**
- ・委員会活動の充実
 - ・教科等との関連
 - ・たてわり班による活動

- 生活指導の重点**
- ・「十三小のやくそく」の徹底
 - ・全教職員の児童理解の充実
 - ・避難訓練、安全指導等の実施
 - ・基本的生活習慣の徹底

- 特別支援教育の重点**
- ・スクールカウンセラー及び特別支援教室専門員の活用
 - ・保護者や関係機関等との連携相談

- 進路指導の重点**
- ・体験学習を通じた勤労と生き方への指導
 - ・将来にわたって夢や希望を抱く指導

- 各教科の指導の重点**
- **国語**
 - ・国語を適切に表現し正確に理解する力の育成
 - ・伝え合う力の定着と向上
 - ・国語を尊重する態度の育成
 - **社会**
 - ・学年の課題に合った資料（地図・写真・文章）を読み取る力の育成
 - ・課題の解決に向けて、考えたことや選択・判断したことを説明したり、話し合ったりする力の育成
 - **算数**
 - ・既習事項を活かして、自ら課題解決に取り組む児童の育成
 - ・基礎・基本の定着
 - **理科**
 - ・具体的、体験的な活動から課題を導き出す力の児童の育成
 - ・課題の解決に向けて、予想、事実、実験を積み重ね、分かったこと、考えたことを説明したり、話し合ったりする力の育成
 - **生活**
 - ・具体的な活動や体験の充実
 - ・自分と身近な人々、社会や自然とのかかわりに関心をもち、自立への基礎の育成
 - **音楽**
 - ・音や音楽を通じた、友達と協働する力の育成
 - ・音楽的な根拠をもとに自分の考えをもち、表現や聴き方に生かす力の育成
 - ・主体的に音や音楽に関わったり試行錯誤したりする力の育成
 - **図画工作**
 - ・造形的な創造活動の基礎的な能力の育成
 - ・豊かな情操の育成
 - **家庭**
 - ・衣食住などに関する実践的・体験的活動の充実
 - ・家庭生活を大切にする心情の育成
 - ・家族の一員としての実践的な態度の育成
 - **体育**
 - ・適切な運動の経験と健康安全についての理解
 - ・生涯を通じて、健康・安全な生活を送るための基礎の育成
 - ・基本的な動きや技能と体力の向上

学力向上に向けた具体的な手だて

- 基礎・基本の定着**
 - 授業にかかわる児童の意識調査（年2回）を実施し、結果を基にした授業改善
 - 東京ベーシック・ドリルを活用し、習熟度別によるきめ細かい算数指導
- 問題解決的な学習の意図的・計画的な実施**
 - 児童の発達段階や実態に合わせた課題設定
- 児童が「自ら」・「他と共に」学ぶための工夫**
 - 児童の学びを支える指導感の共有
 - 学習形態の工夫（個・ペア・バズ・グループ等）
- 考える楽しさを味わわせ、思考力を高める授業**
 - 具体的な教材や掲示物の工夫
 - 体験的な学習の充実
 - 地域の教育資源を活用した授業

学習基盤

- 学習習慣**
 - 学習道具の準備
 - チャイム着席
 - 授業の始めと終わりのあいさつ
 - 家庭学習
- 学習規律**
 - 話し方「はい・立つ・です」
 - 聞き方「背・目・手」
- 朝学習**
 - 「漢字練習」「計算練習(金曜日東京ベーシックドリル等)」「読書」の10分間の集中トレーニング
- 十三小スタンダード**
 - ホワイトボードによる、学習の流れの理解
 - 〈授業展開〉
 - ・課題
 - ・めあて
 - ・自分の考えをもつ
 - ・ペア、グループ交流、ノートを見合う活動
 - ・全体交流
 - ・まとめ
- 学習の補充**
 - 放課後の時間を活用した補習教室の実施
 - サマースクール
 - チャレンジ教室
 - タブレット等を活用した家庭学習

【授業改善に向けた校内体制】		
指導体制の改善	学習基盤の充実	プランの評価・改善
1 学級担任に、学習補助員を加えた、複数のスタッフによる指導システム（1～3年生） 2 授業改善推進プランの作成・改善 ⇒ 研究授業、研究協議会の実施を通して 4 学力向上（習熟度）委員会の設置 ⇒ 教務主任・算数担当・実施学年主任で構成し、習熟度別算数指導の方法について協議する。	5 学年会の確保 ⇒ 会議の精選・効率化 6 放課後や夏休みの個別指導の確保 ⇒ 週時程の工夫・補習教室等の確実な実施 7 学習支援ボランティアの活用 ⇒ ボランティアの運営組織	1 基本的生活習慣・家庭学習の定着 ⇒ 「早起き早寝朝ごはん」の生活リズム 2 保護者への啓発 ⇒ 学校・学年・保健等のお便りの発行 ⇒ ホームページによる情報発信 3 東京ベーシックドリル診断シートの活用 4 タブレットを活用した家庭学習や補習
前年度の全国学力・学習状況調査及び、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果や学期ごとに行う東京ベーシックドリルの診断テストの結果から、課題が改善されたかを分析し、全体計画及び各学年のプランの修正を行う。		